科目ナンバリング	U-LAS21 10005 SO48						
授業科目名<英訳>	ドイツ語ＩＢ（演習） D1215 Elementary German B			担当者所属職名・氏名	非常勤講師 吉村　淳一		
群	外国語科目群			分野(分類)		使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	金2	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

簡単な読みもの・作文、やさしい会話、ビデオ教材の使用などを通して、ドイツ語を話す人々の文化や思考法を知ることを目的とする。外国語や異文化について学ぶことは、相手の立場に立つ手段を得ることであり、また母語や自国の文化への理解を深めることにも通じる。使いこなせる言語の数が増えれば、自分自身の世界も広がる。外国語を習得するためには、文法や語彙を学び、実際にそれらを使って表現してみる必要がある。この授業では、特に「話す」、「聞く」力に重点を置き、ペア練習、グループ練習、個人指導により、楽しんで文法を学べるように配慮する。また、５分から１０分程度の音楽や映像を用いて文化紹介の時間も設ける。

[到達目標]

・簡単なドイツ語のテキストが、辞書を引きながら読めるようになることを目標とする。
・習得した文法の知識を活用して単文レベルの簡単な会話ができるようになることを目指す。
・書き言葉においても話し言葉においてもドイツ語の実践的なコミュニケーション能力を高める。
・文化の多様性について学び、自己や他者を理解する力を身につける。

[授業計画と内容]

この授業で使用する教科書は全26課から成り立っている。教科書配列に従って、後期は第14課から第26課までを扱うが、必要に応じて扱う順番を変更することもある。

1．第14課：ドイツの中のニッポン（形容詞の比較級・最上級）
2．第15課：EU とドイツ（数詞／日付・時刻）
3．第16課：本と映画（接続詞）
4．第17課：ドイツの仕事（動詞の三基本形と過去人称変化）
5．第18課：ドイツの鉄道（現在完了形）
6．第19課：カルチャーショック（分離動詞と非分離動詞）
7．第20課：クリスマス（再帰代名詞と再帰動詞）
8．第21課：ドイツの医療（関係文）
9．第22課：世界遺産（命令文）
10．第23課：ドイツの移民（受動態）
11．第24課：ドイツの教育制度（分詞）
12．第25課：カーニバル（不定詞）
13. 第26課：ドイツ語の諸方言（接続法）
14．口述試験／模擬試験

授業はフィードバック日を含み15回行う。

発音練習や会話練習を行い、それを通じてドイツ語のリズムを身につけることをめざす。小テストなどによって、語形変化の基礎を身につける。授業前半では教科書や補助教材を使用して文法の解説を行い、後半では教科書や独自教材を使用して会話練習等を行う。その他にも文化紹介の時間を設けて、5分から10分程度の音楽や映像を提示する予定である。

ドイツ語ＩＢ（演習） D1215(2)へ続く↓↓↓

ドイツ語ＩＢ（演習） D1215(2)

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

学期末試験（筆記試験と口述試験：60%）、模擬試験（20%）、練習問題・会話練習・読解練習・小テストなどの平常点（20%）に基づくものとする。
※理由のない欠席や遅刻は減点対象とする（状況に応じて減点対象としない）。
※欠席する場合には必ず事前に連絡すること。

[教科書]

河崎靖 /齋藤杏奈 /下村恭太 /中西志門 /中峯ちひろ /村上絢子 『ドイツの四季デジタルテキスト＋α』（朝日出版社）ISBN:9784255254814
文法説明や会話練習用のプリントを補助教材として配付する。またオンデマンド教材も提供するので、予習・復習に役立ててもらいたい。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業で学んだ表現は何度も使用するので、普段から音読の練習をしておくこと（音声ファイルを配信する予定）。講義資料は電子ファイルでも配布するので、自習（予習・復習）に役立ててもらいたい。授業期間中にも適宜指示を出す予定。

[その他（オフィスアワー等）]

KULASISからの講義連絡は見落とさないように留意してもらいたい。

[主要授業科目（学部・学科名）]